

## 牡丹の思い出



ペンネーム／ARATA

「先生引っ越しすることになりました」と長年通っていたいた生徒さんからの突然の言葉。

最後に「今、庭に咲いている牡丹の花を押したい」と言われ、早速私の分もと何本か持って来ていただきました。花処理をしながらも昔話に花を咲かせ、とても楽しいひとときでした。

後日きれいなピンク色に出来上がった花びらを丁寧に組み立て、美しい大輪の牡丹の作品が完成した時には大変感激されていました。

今も飾っている牡丹は色あせない大切な思い出です。



## 花手箱



ペンネーム/kana

もう 20 年ほど前の事。母に誘われて、作品展に行ったのが押し花との出会いです。作品展の先生が、当時勤めていた教育施設に体験会を開きたいと来られたのです。この不思議なご縁がきっかけで押し花を習い始めました。押し花でトトロの世界を作りたい! と思った事もありました。

いつも応援してくれた母は亡くなりましたが、一緒に見た思い出の花は、今も額の中で咲き続けています。押し花は宝物です!!

来春の朝ドラ「らんまん」が押し花の良さを見つめ直す機会になりそうで楽しみです。

